

needs バスの運行状況をリアルタイム提供することで、観光客・地域住民両方の利便性を向上させたい

自社開発した新たなバスロケーションシステムにより、バスの位置情報をリアルタイムで提供可能に

会社概要
会社名 : 奈良交通株式会社
事業内容 : 路線バス事業、観光バス事業、旅行事業等
従業員数 : 1,572名
所在地 : 奈良県奈良市大宮町1-1-25

【お問い合わせ先】
経営戦略室 西本 敬行 様
TEL:0742-20-3123
E-mail:takayuki.nishimoto@narakotsu.co.jp

背景
・従来のシステムでは路線バスのリアルタイムな運行情報を把握・提供することができずにいた。
⇒ 渋滞等での遅延発生時の待ち時間が通勤・通学のバス離れの原因の1つになっていた。
・急増するインバウンドや観光客等からの問い合わせに対して十分な情報を提供できずにいた。

IoTを活用した課題解決の内容

奈良県と連携・協働のもと、奈良交通定期路線バスの全線において、GPSで取得したバスの位置情報をスマートフォン等（バス検索サイト）で確認できるサービスを開発・提供。併せて、主要バス停に、運行状況や観光案内等の情報を表示する4ヶ国語対応のデジタルサイネージを設置。

- ・検討・開発期間 : 約3年間
- ・開発者 : 自社開発
- ・投資総額 : 約1.3億円（※1）

※1 下記補助金を活用

- 【約1/3】国土交通省補助金
（訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業）
- 【約1/3】奈良県補助金（奈良県バス環境向上事業）

課題

急増するインバウンドや地域住民のバス利用環境の向上を図り、バスの利用促進に繋げたい。

解決方法

- ・国交省や奈良県の補助金を活用し、従来の方式に代わり、GPS方式による新しいバスロケを自社開発。
- ・まずは近鉄・JR奈良駅に乗り入れる路線でシステム運用を始め、約8カ月後には全路線へと拡大した。

特徴



スマホ等から「奈良バスナビ」にアクセスすると、バスの3秒ごとの位置情報を地図上で確認することができる。また、自分の近くのバスや停留所をタッチすると、停車停留所やバス接近情報等がすぐわかる。

バスの位置情報だけでなく、時刻や運賃検索の他、近鉄奈良駅等から主要観光地へのバスアクセス情報を簡単に検索可能。



主要バス停には、日、英、中、韓の4ヶ国語対応のタッチパネル式のデジタルサイネージも設置。臨時便を含めた最新の運行状況や人気観光地への発車案内等を表示することで、土地勘がない人でも使いやすいものに。

導入成果

- ・バスの日常利用者から、とても便利になったという声を多くいただくようになった。
- ・お客様サービスセンターへの遅延に関する問合せがバスロケ導入前より減ったことに加え、問い合わせがあった場合の対応についても、導入前は、「遅れているかもしれないので、もうしばらくお待ちください」としか案内できなかったのが、「今、〇〇付近を走行中ですので、あと〇〇分ほどお待ちください」と案内できるようになった。

成功したポイント

- ・既存バスロケのカスタマイズでなく自社開発することにより導入のコストを削減。
→奈良交通の一般のバス路線はほぼ自社だけで完結する一方で、奈良県だけでなく他県にも延びているため、自社開発することで、運用に適したシステムへのアレンジ&地域特性に合わせた通信キャリアの選択が可能となり、導入コストを削減。
- ・ハードウェア（車載機）、ソフトウェア（Webアプリケーション）ともに0からの製作であったが、材質へのこだわりと試行錯誤の繰り返しを経て、理想のシステムへと近づけた。

今後の展開予定

- ・より多くのお客様に活用いただくため、各停留所に停留所ごとのバス接近情報にアクセスするためのQRコードの掲出を予定。
- ・インバウンド旅客も使えるよう、スマートフォンサイトを現在の2ヶ国語（日、英）から4ヶ国語（日、英、中、韓）に拡大予定。